※令和３年度以前入学生用

学校番号	1206

令和５年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「美術３」　（光村図書）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

１，２年生で培った美術制作を基本として、自己の内面に視線を注ぐことができるよう、作品の制作に取り組ませる。自ら主題を生成し、「愛着のある作品」をつくることを目標に制作をさせ、自他の作品を大切に扱える心を養う。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、美術文化についての理解を深める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創造活動の喜びを味わい、多様な表現方法に関心をもち、美術文化を尊重し、主体的に個性豊かな表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、独創的な主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、主題にあった表現方法を工夫し、個性を生かして創造的に表している。	美術作品などの表現の工夫や国際理解に果たす美術の役割、美術文化などの理解を一層深め、自己の価値観や美意識を働かせて、そのよさや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	制作の様子 ワークシート 鑑賞活動やグループワークの様子	ワークシート アイデアスケッチ 制作途中の作品 作品	制作途中の作品 作品	ワークシート 鑑賞の記録 発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	木炭デッサン	「自画像」の制作 1、2年での基礎を踏まえたうえで、木炭を使ったデッサンに取り組む。	○	○	○	○	a:自己をモデルとしての表現に取り組み、制作工程に工夫をしようとする意欲がある b:対象や自己の内面を見つめ、デッサンの特性を生かし、形体や構成などを工夫して表現の構想を練っている。 c:表現したいことを伝えるための素描の技能を身に付けている。 d:合評。他者の作品を鑑賞し、表現方法や技術を学ぶ。また、言葉として意見・表現ができている。	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・作品点 ・ワークシート
1学期	彫塑	「手」の表現 ブロンズ粘土を使って立体造形を作成する。	○		○		a:自己の手をモデルとして接し、表現の工夫をしようとする意欲がある c:彫塑としての立体造形に工夫があり、正確なデッサン力や伸びやかな表現力が見られる。	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・作品点 ・ワークシート
2学期	ウクレレ制作	ウクレレ制作で、いくつもの工程を経て立体造形することに取り組みデザインし、使える楽器としてもの作りの楽しさを学ぶ。	○	○	○	○	a:複雑な立体造形の制作に意欲的に取り組んでいる。 b:楽器として使うイメージを膨らませ、デザインを考える。 c:工具を使いこなし、手順良く、きれいな造形表現ができている。 d:自分が作った楽器で演奏する楽しみを知り、他者の作品を評価し、演奏することで他者と芸術を共有できている。	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・作品点 ・ワークシート
3学期	切り絵	1枚の紙から、文字とイラストを取り入れ、切り込んでいく事によって絵画を表現する。	○	○	○		a:伝統的であり、斬新的な表現もできる切り絵表現で、自己の個性を生かした作品制作に意欲的に取り組む。 b:一枚につながらないといけないという規制の中で創造し工夫できている。 c:美しいデザイン、カッターワークができている。	・学習活動の様子 ・制作の様子 ・作品点 ・ワークシート

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。